

ノーレット方式について（熊本県高体連テニス専門部）

令和6年7月11日

- 1 ノーレット方式サービスがネットに触れたとしてもインプレーとする方式です。
- 2 選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。
- 3 選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。
- 4 双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせずに有効となります。
- 5 SCUが誤ってレットをコールした場合、ファーストサーブ、セカンドサーブに関係なくポイントレット(ファーストサービスからの打ち直し)となります。
- 6 ダブルスでは、レシーバー側の決められたサイドの選手がレシーブをしなければなりません。

※「ショートセット方式」(4ゲームでの試合)でのダブルスの場合は、ネットインしたボールをレシーバー側のどちらの選手でも返球できますが、「ショートセット方式」採用予定はありません。